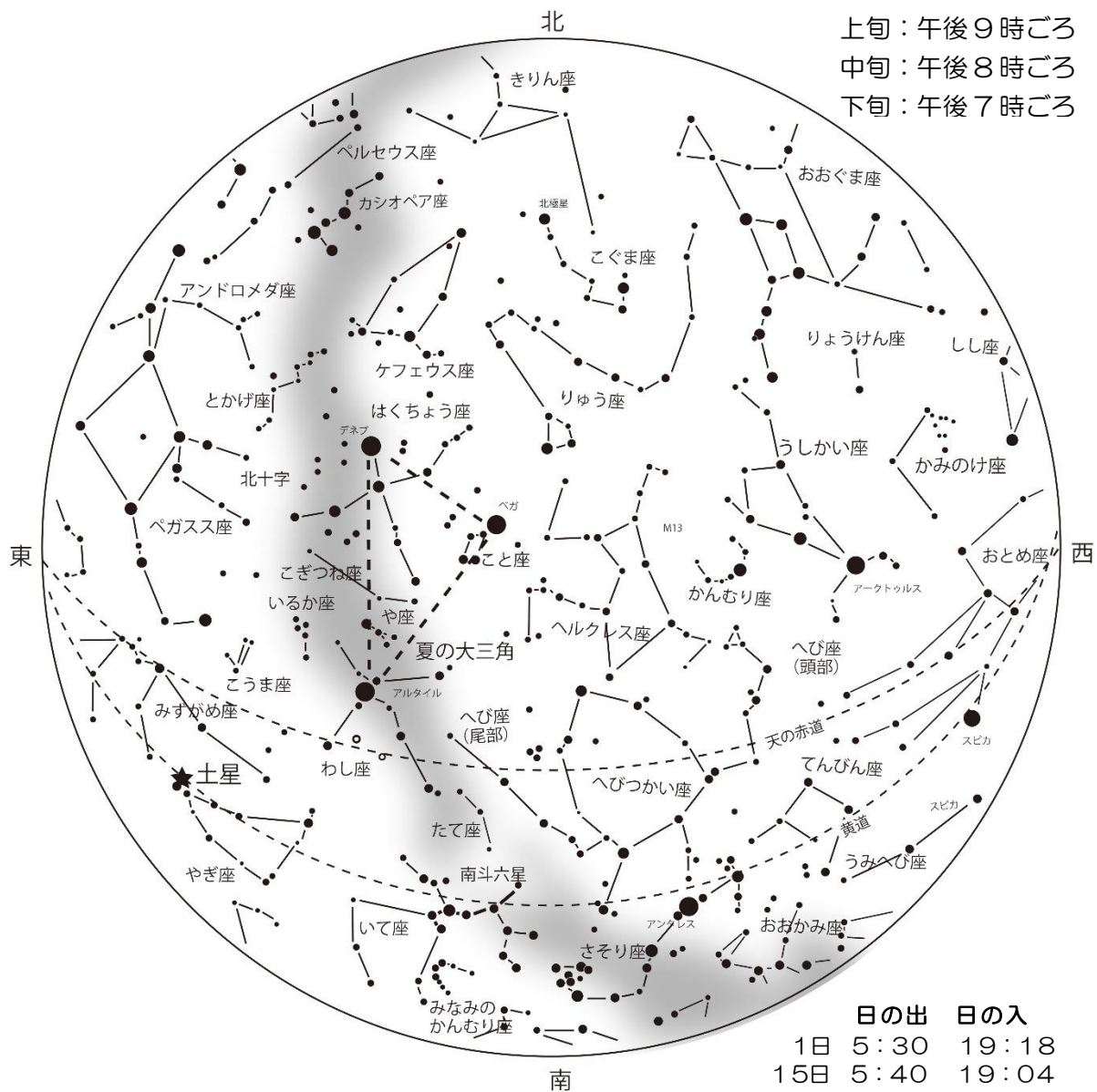


# 令和4年 8月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ  
中旬：午後8時ごろ  
下旬：午後7時ごろ

## ★8月の星空案内

暑い日が続き、蝉の鳴き声が響きわたり夏本番という感じがします。そんな8月の夜空には夏の星座が見えています。夏の星座を見つけるには、明るく輝く3つの星を結んでできる三角形の星の並び『夏の三大角』が目印となります。『夏の三大角』の1つ目の星は、ちょうど頭の真上あたりにひときわ明るく輝くこと座の1等星のベガです。この星は、日本では“織姫星”として親しまれてきました。2つ目の星は、ベガから南東の空に目線移すと見つけることができるわし座の1等星アルタイルです。この星は“彦星”として親しまれてきました。七夕のお話では織姫と彦星は天の川の両岸で暮らしていますが、実際の空でも織姫星と彦星は、天の川の両岸で輝いています。3つ目の星は、ベガから北東に目線移すと見つけることができるはくちょう座の1等星デネブです。『夏の三大角』を見つけると、こと座、わし座、はくちょう座の3つの星座を見つけることができます。街明かりの明るい場所でも見つけることができるので、ぜひ探してみてください。また、街明かりのない場所では、頭の真上あたりに見える『夏の三大角』から南の地平線に向かって天の川が観測できます。夏休みの思い出づくりに夏の星座や天の川を探してみてくださいはいかがでしょうか。

### 【 見ごろの惑星 】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星(0.0等前後):しし座→おとめ座付近 観望に適さない。
- 金星(-3.9等前後):ふたご座→しし座付近 観望に適さない。
- ☆火星(0.0等前後):おひつじ座→おうし座付近 日の出前、東南東の空で輝く。
- ☆木星(-2.8等前後):くじら座付近 午前0時頃、南東の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.4等前後):やぎ座付近 午後10時頃、南東の空で輝く。

### 注目の天文現象(8月)～土星が見ごろ、土星を探してみよう～

環のある惑星として人気のある土星が、8月15日に『衝(しょう)』となります。『衝』とは、太陽系の天体が、地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間のことです。この日前後の土星は太陽が沈むころに東の空から昇り、日の出の頃に西の空に沈むので、一晩中観察することができます。

また、土星が『衝』を迎える前の8月11日から12日にかけて、月が土星に接近して見える様子を観察することができます。より近づいて見える12日は、ちょうど満月の日です。この日の土星の明るさ0.5等と月の明るさ比べると少し控えめですが、2つの天体が並ぶ様子をぜひ実際の空でもお楽しみください

ぜひ、今年は月の満ち欠けと共に、満月の大きさに注目し、写真を撮りながら月を観察してみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	木	伝統的七夕(旧七夕)	15	月	土星が衝：観望の好期
5	金	☾ 上弦 (20:07)	19	金	☾ 下弦 (13:36)
12	金	☉ 満月 (10:36)	27	土	● 新月 (17:17)
13	土	ペルセウス座流星群が極大 (出現期間7月20日～8月20日)			